

平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年2月6日

上場会社名 株式会社スガイ・エンタテインメント
 コード番号 4650 URL <http://www.sugai-e.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤 直樹
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理統轄部長 (氏名) 吉住 実
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 JQ

TEL 011-241-3951

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	4,091	—	△192	—	△290	—	△1,554	—
20年3月期第3四半期	4,877	△6.0	△185	—	△281	—	△319	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△362.85	—
20年3月期第3四半期	△74.62	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	9,314	2,310	2,310	3,892	24.8	539.50
20年3月期	11,034	3,892	3,892	—	35.3	908.69

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 2,310百万円 20年3月期 3,892百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,720	△13.7	40	—	△90	—	△1,350	—	△315.17

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 4,303,500株 20年3月期 4,303,500株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 20,048株 20年3月期 20,048株
 ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第3四半期 4,283,452株 20年3月期第3四半期 4,283,452株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想につきましては、平成20年10月31日に公表しました内容から変更しております。詳細につきましては、平成21年2月6日付けの「特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知お願います。

3. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、米国サブプライム問題を背景とした世界的な金融危機の深刻化や世界景気の下振れ懸念、株式・為替相場の大幅な変動の影響、雇用環境の悪化などを受け消費マインドが低下し、娯楽支出の抑制がみられました。

このような状況下のなか、当社では、帯広市に中型ゲーム店舗アミューズメントパーク帯広のオープン（平成20年4月）、SFC会員システムのリニューアル及び様々な販促イベントの開催等を実施する一方で、不採算店舗の閉鎖、店舗運営コスト管理の徹底を図ることなどに努力してまいりました。しかしながら、前事業年度から続いている売上減少傾向が改善せず、当第3四半期累計期間の売上高は40億91百万円になりました。

営業損失、経常損失に関しては、期初に環境悪化を見通して計画した経費削減策は一定の成果を得たものの、売上の落ち込みが予想を上回ったことにより、営業損失は1億92百万円、経常損失は2億90百万円となりました。四半期純損失に関しては、営業施設1箇所の土地12億円の減損処理を実施し、特別損失を計上したことにより、四半期純損失は15億54百万円となりました。

第3四半期累計期間の部門別売上高は、下記のとおりであります。

区分	前第3四半期累計期間 自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日		当第3四半期累計期間 自 平成20年4月1日 自 平成20年12月31日		増減
	売上高	構成比	売上高	構成比	
	百万円	%	百万円	%	百万円
アミューズメント施設部門	4,146	85.0	3,444	84.2	△701
映画興行部門	658	13.5	575	14.1	△82
その他	72	1.5	70	1.7	△2
合計	4,877	100.0	4,091	100.0	△785

（アミューズメント施設部門）

アミューズメント施設部門につきましては、営業促進部の人員増等による強化により、ボウリング団体等の集客は堅調でありましたが、生活防衛意識の高まりによる消費マインドの低下等が影響し、ファミリー層及びヤング層の集客が減少したことなどにより、34億44百万円になりました。

（映画興行部門）

映画興行部門につきましては、前第3四半期累計期間よりヒット作品が少なかったことなどにより5億75百万円になりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第3四半期の総資産は93億14百万円となり、前期末に比べ17億20百万円減少しました。これは主に、有価証券等流動資産の減少（前期末比3億63百万円減）、土地等有形固定資産の減少（同11億68百万円減）、並びに投資その他の資産の減少（同1億93百万円減）があったことなどによるものであります。

負債については、70億3百万円となり、前期末に比べ1億39百万円減少しました。これは主に、1年以内返済予定の長期借入金等流動負債の増加（同1億36百万円増）がありましたが、長期借入金等固定負債の減少（同2億75百万円減）があったことなどによるものであります。

純資産については、23億10百万円となり、前期末に比べ15億81百万円減少しました。これは主に、株主資本の減少（同15億67百万円減）及び評価・換算差額等の減少（同14百万円減）などによるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期末に比べ3億67百万円減少し、6億52百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、1億65百万円になりました。これは主に、税引前四半期純損失が15億3百万円及び利息の支払額が1億6百万円等ありましたが、非資金費用である減価償却費が5億81百万円及び減損損失が12億円等あったことなどによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は1億46百万円となりました。これは主に、差入保証金の回収による収入が1億66百万円等ありましたが、有形固定資産の取得による支出が3億70百万円等あったことなどによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は3億86百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入が7億円ありましたが、長期借入金の返済による支出が9億47百万円、社債の償還による支出が75百万円並びに長期未払金の返済による支出が45百万円等あったことなどによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の業績等を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成20年10月31日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」から平成21年3月期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（平成21年2月6日）別途公表しております「特別損失の発生及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

2. 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

商品・貯蔵品

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、先入先出法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これによる損益への影響はありません。

3. リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する事業年度に係る四半期財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零（残価保証の取り決めがある場合には残価保証額）とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これにより、有形固定資産のその他が86,852千円、固定負債のその他が86,301千円増加しており、損益への影響は軽微であります。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	641,104	708,635
売掛金	93,005	86,642
有価証券	11,255	311,427
商品	17,919	12,709
貯蔵品	37,564	39,430
その他	104,156	109,060
貸倒引当金	△293	△30
流動資産合計	904,713	1,267,876
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,104,385	3,186,159
アミューズメント機器(純額)	858,380	796,685
土地	2,739,860	3,939,860
その他(純額)	273,103	221,082
有形固定資産合計	6,975,730	8,143,788
無形固定資産	13,029	9,103
投資その他の資産		
差入保証金	1,003,633	1,133,340
その他	416,904	480,399
投資その他の資産合計	1,420,537	1,613,739
固定資産合計	8,409,297	9,766,631
資産合計	9,314,010	11,034,507

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	95,591	100,071
1年内償還予定の社債	75,000	85,000
1年内返済予定の長期借入金	1,405,944	1,290,679
1年内返済予定の長期未払金	70,775	10,973
未払法人税等	4,830	7,807
賞与引当金	3,077	21,927
ポイント引当金	15,500	9,500
店舗閉鎖損失引当金	52,900	55,000
その他	413,546	419,319
流動負債合計	2,137,164	2,000,277
固定負債		
社債	72,500	137,500
長期借入金	4,014,587	4,377,756
長期未払金	132,549	48,118
退職給付引当金	146,827	139,656
その他	499,442	438,851
固定負債合計	4,865,905	5,141,882
負債合計	7,003,070	7,142,159
純資産の部		
株主資本		
資本金	948,775	948,775
資本剰余金	1,128,995	1,128,995
利益剰余金	262,531	1,829,614
自己株式	△10,844	△10,844
株主資本合計	2,329,458	3,896,541
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△18,518	△4,193
評価・換算差額等合計	△18,518	△4,193
純資産合計	2,310,940	3,892,347
負債純資産合計	9,314,010	11,034,507

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	4,091,297
売上原価	3,728,793
売上総利益	362,504
販売費及び一般管理費	
給料	158,029
賞与引当金繰入額	929
退職給付費用	4,470
租税公課	84,518
その他	307,395
販売費及び一般管理費合計	555,342
営業損失(△)	△192,838
営業外収益	
受取利息	4,839
受取配当金	1,444
アミューズメント機器売却益	15,968
その他	13,068
営業外収益合計	35,320
営業外費用	
支払利息	107,774
アミューズメント機器処分損	20,091
その他	5,116
営業外費用合計	132,982
経常損失(△)	△290,500
特別利益	
固定資産売却益	206
投資有価証券売却益	287
特別利益合計	494
特別損失	
固定資産除却損	1,749
投資有価証券評価損	8,573
減損損失	1,200,000
店舗閉鎖損失引当金繰入額	3,500
その他	13
特別損失合計	1,213,836
税引前四半期純損失(△)	△1,503,842
法人税、住民税及び事業税	7,559
法人税等調整額	42,831
法人税等合計	50,390
四半期純損失(△)	△1,554,232

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失 (△)	△1,503,842
減価償却費	581,506
減損損失	1,200,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	263
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18,850
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,171
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	6,000
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△2,100
受取利息及び受取配当金	△6,284
支払利息	107,774
有形固定資産除却損	14,732
有形固定資産売却損益 (△は益)	△9,052
投資有価証券売却損益 (△は益)	△287
投資有価証券評価損益 (△は益)	8,573
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,363
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,343
その他の資産の増減額 (△は増加)	△35,821
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,479
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△27,150
その他の負債の増減額 (△は減少)	△27,070
小計	281,374
利息及び配当金の受取額	2,735
利息の支払額	△106,220
法人税等の支払額	△12,647
営業活動によるキャッシュ・フロー	165,241
投資活動によるキャッシュ・フロー	
貸付けによる支出	△5,600
長期貸付金の回収による収入	23,017
投資有価証券の取得による支出	△4,553
投資有価証券の売却による収入	20,263
有形固定資産の取得による支出	△370,516
有形固定資産の売却による収入	66,253
有形固定資産の除却による支出	△505
無形固定資産の取得による支出	△4,560
差入保証金の差入による支出	△36,430
差入保証金の回収による収入	166,137
その他	△285
投資活動によるキャッシュ・フロー	△146,779
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	700,000
長期借入金の返済による支出	△947,904
社債の償還による支出	△75,000
長期未払金の返済による支出	△45,696
配当金の支払額	△12,885
その他	△4,679
財務活動によるキャッシュ・フロー	△386,165

(単位：千円)

当第3四半期累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△367,702
現金及び現金同等物の期首残高	1,020,062
現金及び現金同等物の四半期末残高	652,360

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

前第3四半期累計期間 (平成19年4月1日～12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額 (千円)
I 売上高	4,877,285
II 売上原価	4,406,722
売上総利益	470,563
III 販売費及び一般管理費	656,420
営業損失 (△)	△185,856
IV 営業外収益	36,932
V 営業外費用	133,001
経常損失 (△)	△281,925
VI 特別利益	19,501
VII 特別損失	260,291
税引前四半期純損失 (△)	△522,715
税金費用	△202,947
四半期純損失 (△)	△319,768

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期第3四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失(△)	△ 522,713
減価償却費	609,975
減損損失	222,680
ポイント引当金の増加額	7,300
貸倒引当金の増加額(△減少額)	△40
賞与引当金の増加額(△減少額)	△23,072
退職給付引当金の増加額(△減少額)	△5,225
受取利息及び受取配当金	△9,489
支払利息	114,829
有形固定資産除却損	24,357
有形固定資産売却益	△15,791
有形固定資産売却損	358
投資有価証券売却益	△17,649
売上債権の減少額(△増加額)	495
たな卸資産の増加額	△7,803
その他資産の増加額	△39,051
仕入債務の増加額	4,014
未払消費税等の増加額(△減少額)	△19,995
その他負債の増加額(△減少額)	△22,689
小計	300,490
利息及び配当金の受取額	5,544
利息の支払額	△117,559
法人税等の支払額	△11,008
営業活動によるキャッシュ・フロー	177,466
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
貸付金による支出	△240
長期貸付金の回収による収入	22,142
投資有価証券の取得による支出	△12,733
投資有価証券の売却による収入	137,488
有形固定資産の取得による支出	△512,298
有形固定資産の売却による収入	51,495
差入保証金の差入による支出	△30,214
差入保証金の回収による収入	26,484
その他	△96
投資活動によるキャッシュ・フロー	317,972
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入による支出	800,000
長期借入金の返済による支出	△929,700
社債の償還による支出	△75,000
自己株式の取得による収入	△5,224
長期未払金の返済による支出	△49,134
配当金の支払額	△21,486
財務活動によるキャッシュ・フロー	△280,545
IV 現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	△421,051
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,446,638
VI 現金及び現金同等物の期末残高	1,025,587